



宮崎大学マガジン

【特集】

新学長インタビュー — 鮫島 浩 学長 —



テゲバジャーロ宮崎

宮崎大学 サッカー部

宮崎大学 サッカーサークル

「豚の体重が見えるメガネ」を開発 -川末 紀功仁 教授-

新型コロナウイルスと戦う「看護師ランナー」 -福崎 崇宏さん-

地域に豊かな森を残したい -岡 みのりさん-

サークル紹介「今、宮崎大学のサッカーが熱い!!」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

宮崎大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に資する取り組みを推進しています。

地域との連携を密にした 大学運営

～母校を愛し社会に
貢献できる人材を育てたい～

宮崎大学 学長 鮫島 浩



含め、一丸となって進めていることがよく分かります。木花キャンパスにある4つの学部については、特に農学部・工学部・教育学部の3学部は歴史が長く、地域に根ざした教育・研究が行われていると思います。地域資源創成学部は、設置から5年と歴史は浅いですが、県内の地域社会や地方自治体との連携を密にした特色ある教育プログラムのもとで、将来の地域を支える人材を育成していると思います。ここが輝いていて、どこをもっと伸ばさないとはいけなから、新しい執行部メンバーなどと協議を重ねながら検討していくつもりです。

これがひの宮崎大学のビジョンを教えてください。

常に考えているのは、宮崎大学が国立大学として宮崎にある意味です。いかに地元と密着しているか、地元で貢献しているか。常にそういう観点で地域目線、地域の人たちからの目線を重要視していく必要があると考えています。地域にとっても大学にとっても、まず学生、卒業生の「宮崎大学LOVE」という気持ちを強くしていきたい。そうすれば宮崎への貢献も自然と大きくなるでしょう。

人、人材こそが宝です。いかにいい人材を地域に残せるかを真剣に考えなくてはなりません。基礎的な教育はどこでも同じです。宮崎の中で日本の最高学府としての教育が受けられます。世界とつながる研究も行われています。「この大学に行きたい」と聞かれたら「宮崎大学」と答える子どもたちを増やしたい。実現できる自信を持っています。そのために、もっと広報戦略を強化していく必要はあると思っています。

学長としては、みんなについていこうというスーパーマン的な学長ではなく、組織をつくって、その組織の中で光り輝くものをみながら見つけ出し、伸ばしていくことをイメージしています。自分たちの持っている資源の中で、何がいい、何がよくない、何が育ちそうだと、どうする

2021年10月より、学長に就任した鮫島浩学長は、2021年9月末まで病院長を務めるとともに、本県の周産期母子医療体制の充実に大きく貢献してきた実績を持ちます。本特集では、鮫島学長の学生時代の経験などに触れながら人物像を紹介し、これからどのような大学運営をしていくのか、そのビジョンに迫っていききたいと思います。

どんな学生時代を過ごされましたか？

3人兄弟の末っ子で、兄、姉の影響もあって鹿児島県立鶴丸高校に入学しました。高校時代は物理学者になろうと思っていました。数学や物理が面白くて、宇宙物理を研究したかったです。高校はゆったりとした校風で、バスケットボール部の練習に明け暮れていました。ポジションはガード。主将を務めてインターハイにも出場しました。

バスケットボールは、鹿児島大学医学部に進学してからも続け、同級生メンバーで遊び、時々勉強という日々でした。医学部の伝統として言われていたのは「最初の2年間に遊び尽くすこと」。部活に飲み会にダンスパーティー、楽しいことしか覚えていませんね。

医師・産科医を目指した理由は何だったのですか？

受験を前に最終的に医学部を選んだのは、「一人のためになる」と思ったからです。鶴丸高校の校是は「Ourselves(人のために尽くせ)」。これは今も、私の人生の行動指針になっていると思います。

専門については非常に悩みました。鹿児島市立病院に研修に入っているときのことです。市立病院は私が高校時代に五つ子誕生で話題になったところで、とても印象に残っていました。その責任者でもあった私の恩師と飲んでいるときに、どうやら「産婦人科に行く」と宣言したらいいんです。「五つ子出産の主治医を務め

のかということをとりとめていきたいと思っています。

新たに仕掛けたいと考えていることを教えてください。

大学内のコミュニケーションをもっと活性化させたいと考えています。例えば、いろいろな学部の学生が集まってコミュニケーションができる、教員みんなで話し合える場があること。また、宮崎大学の学生であれば好きな時間を使って、どの学部の講義も聞くことができるというのも必要かもしれません。異分野融合は強く進めていきたいですね。

外部から優秀な人を連れてくるのも改革の一つだと思っています。よく変革のためには、「よそ者、若者、馬鹿者」が必要と言います。新陳代謝を高めるような外からの刺激を受けながら、中にいる人の想いもビックアップし、吸い上げる場もつくっていききたいと思っています。

コロナ禍を経験し、感じていっていることはありますか？

新型コロナウイルス自体は、徐々に落ち着いてくると思います。問題は新興感染症が起こったとき、何らかの問題が起こったときに国全体、県全体で対応するシステムが非常に脆弱であったことです。危機への対応を直接見てきた若者たちが一番、今後重要な力になってくると思います。これからワクチンを開発したいという人、危機対策を担うために行政を目指す人もいるかもしれない。危機に対する考え方がぶれてしまっている日本で、これからの社会をつくる次の世代と一緒に取り組んでいかなくてはいけないと考えています。

学生へのメッセージをお願いします。

一番大切にしてほしいのは自分が何をしたいかとい

た池ノ上先生(宮崎大学前学長)にも学べるからと勧められて。池ノ上先生は、当時アメリカに留学中で、帰国してからの出逢いとなりました。

臨床研修の後、留学されています。アメリカでの研究はいかがでしたか？

約3年間、アメリカに留学することができました。そこでは子宮内の胎児の生理学を研究しました。我々大人は低酸素になると心臓がバクバクして息が激しくなります。赤ちゃんは逆で、心臓は徐脈となり、呼吸を止めるんです。生まれて2日くらい経つと大人と同じようになります。これは話し出すと長くなりますが、興味深いです。

留学中の研究や学外活動はすべて楽しく、そのときの人間関係は今も続いています。子どもを2人授かったことも留学時代の宝です。

宮崎大学はどのような大学だと感じていますか？

地域に根ざして必死にがんばっている大学であると感じています。

長年経験してきた医学部や附属病院の観点で言うと、県医師会や県と非常にいい連携を保っています。人と人とのつながり、学術的にも行政的にもいいつながりを持って、宮崎県に若い医師を残そうということも

うこと。見つからない人もたくさんいると思います。そのときは、「一人のために何ができるか」という視点が大切だと思っています。自分の持っている特技、得意なことを介して人のために何ができるか。それが人の幸福につながって、自分の幸福にもつながっていくのだと思います。自分の思い描いたおりの人生を歩く人は一人もいないでしょう。大部分は自分の夢がありながら、現実もある。けれども現実が夢と離れているから不幸になるのだとすれば、それは現実への取り組み方がシャープではないのだと思います。どの仕事でも楽しみもあるし、苦しみもある。私は医師になりましたが、自分で考える医療を完璧に成し得たわけではありません。振り返れば、目の前にいる患者さんを助けていく、目の前にある仕事をこなしながら、これが人のためになっているということが多いような気がしています。運命の流れにある程度任せせても、人生は幸せである。どんなチャレンジもできる、夢をかなえるワンステップである宮崎大学という場で、自信を持って思う存分楽しんでほしいと思います。



鮫島 浩 [さめしま ひろし]

鹿児島市出身。1981年に鹿児島大学医学部を卒業、'83年米国立リフォルニア州のLoma Linda大学に留学。'95年宮崎医科大学(現宮崎大学医学部)産婦人科に入職し、全県下の周産期医療体制構築に邁進した。2016年、宮崎大学医学部附属病院病院長に就任。

Profile



豚を出荷する際の最適な体重は115kg。しかし100kgを超える豚を1日に数百匹、1頭1頭はかって出荷するのは大きな負担です。飼育日数と見た目による大きさで出荷時期を判断することが多く、適正体重で出荷されない豚が多いことが課題となっています。

今回、宮崎大学工学部の川末紀功仁先生が開発したのは「豚の体重が見えるメガネ」。AI(人工知能)とAR(拡張現実)技術を駆使し、この装置が実現しました。

工学部 工学科(機械知能工学プログラム担当)

かわすえ まくひと
川末 紀功仁 教授

ロボット工学の技術で地域のためにできること 畜産を支える「豚の体重が見えるメガネ」を開発

■畜産県・宮崎のために

「少年時代は、鉄人28号に夢中でした」と話す川末先生。長崎大学でロボットの目的の研究を重ね、前職の佐世保工業高等専門学校では、養殖場内の稚魚の数を毎秒2000匹数えられる装置を完成させました。2000年に宮崎大学に着任し、宮崎のためにできることを考えたときにまず浮かんだのが畜産・和牛だったといいます。「農学部との先生と一緒に研究会をつくり、和牛農家を訪ね、話をお聞きしました。ほとんどの農家が目分量で体重測定をしていると知り、体重をはかるカメラの開発を始めました」。後に豚の体重測定に関するプロジェクトもスタートし、今回の装置開発がいよいよ進んでいきます。

■両手が見えるのがポイント

このメガネは、3Dカメラがセンサーとなり、立っている豚であればどの方向からでも一瞬で体重をはかることができます。「最初は手持ちのカメラで撮影するアイデアを思いつきましたが、走っている豚を撮影するのは難しい。目なら動く豚を追うことができる。そこに気づいたのがポイントでした。さらに背骨に対して左右対称であることを利用して、全体像を把握できるようにしています」。豚の画像はコンピュータに転送され、体高や胸囲などのデータを

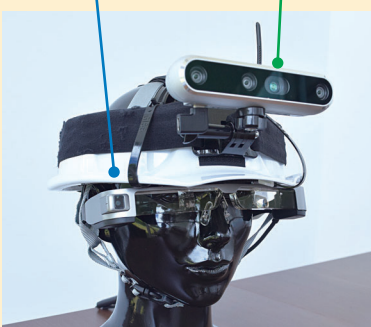
基に枝肉重量、生体重量を算出します。両手が見え、1人でも作業ができるのは大きなメリットです。

■海外のメーカーとも契約

特許出願のため、今年5月のプレス発表で初めてこのメガネの情報がオープンになり、問い合わせが殺到しました。今後は、養豚業者と共同でデータを収集し、精度を上げると同時に、メーカーとの製品化を進めていきます。国際特許も出願し、ドイツのメーカーと契約。9月から本格的に共同研究がスタートするそうです。「コロナ下ということで、Zoomを使って毎週、打ち合わせをしています。数週間というスピードで契約を結ぶことができました」。宮崎のために生まれたアイデアが、形となり、国内、海外の畜産業を支える技術となっています。

測定した数値が表示される
スマートグラス

レーザーを照射し立体を把握。色を見る機能も備わった
3Dメガネ



川末先生から学生へのメッセージ

ものづくりをしたい人、人工知能・AIに興味がある人は、ぜひ工学部を目指してほしいと思います。

機械知能工学は、若い人の力が発揮できる分野です。

大学受験を無事に終えて入学すると、目標を見失ってしまいがちです。コンテストなどにも果敢にチャレンジしてください。目標を持っている人は強いです。目標があるから勉強する意欲が湧きます。

私も、今回開発した機械を製品化するという目標があるからがんばれます。



新しい情報は研究室ホームページでご確認ください
[<https://www.cc.miyazakiu.ac.jp/kawasue/>]



新型コロナウイルスと戦う 『看護師ランナー』

福崎 崇宏 さん

医学部附属病院集中治療部 看護師(宮崎県出身)
大学病院勤務14年目



新型コロナウイルス重症患者を受け入れる宮崎大学医学部附属病院のICU(集中治療室)で、コロナ患者をはじめとする重症者への対応にあたる傍ら、宮崎県内最大級のマラソンイベントである「青島太平洋マラソン」での表彰台を目指し、時間の合間を縫って日々トレーニングに励んでいます。

3 すべての人に健康と福祉を



Q. コロナ禍におけるICUでの現場を教えてください。

コロナの患者さんに対応する時は、防護服で身をまとい、N95マスクで鼻を圧迫します。長時間におよぶ対応で、かなり体力を消耗することを実感しています。

私は、集中治療部への配属となって2年目で、他の先輩スタッフの皆さんに支えてもらいながら奮闘しています。また、自分自身が感染して他の患者さんやスタッフはもちろん、自分の家族にもうつさないように細心の注意を払いながら感染対策をしています。

Q. フルマラソンを始めたきっかけは。

小中学校時代は野球部でした。26歳の時にダイエット目的でジョギング始め、27歳の時に初めて参加した青島太平洋マラソン(アオタイ)で3時間40分の記録が出て、もっと速くなりたいと思ったこと

がきっかけです。

2018年のアオタイでは、2時間30分で総合4位。翌年は2時間28分まで記録を伸ばしましたが、総合5位となり、表彰台には立つことができませんでした。

Q. アオタイでの目標を教えてください

2021年のアオタイが実施されるかどうかはわかりませんが、2時間25分台の記録を出し、表彰台に上がることを目標にトレーニングに励んでいます。そして、少しでも早くコロナが収束してくれることを祈っています。



学生にワクチン接種を行う福崎さん



防護服で処置にあたる様子

15 陸の豊かさも守ろう

地域に豊かな森を残したい

Q. 森づくりの活動を始めようと思った理由は。

移住後2年ほどたった頃から、周辺の山林が伐採される一方で、再生林をしようという山主が減っている実情を知り、自分たちに何かできないかと思っていました。豊かな自然が欠かせないミツバチを扱う者として、地域の環境作りに貢献したい気持ちと、四季折々の花が咲くような豊かな森を次の世代に残したいという想いがあり、その想いに賛同くださる山主さんとの出会いがきっかけです。

Q. これまで具体的にどのような活動をしてきましたか。

2019年から毎年2月下旬～3月上旬に加江田地区の伐採跡地で植樹イベントをしており、これまで3年間で、のべ87名の方に参加いただき、合計31種2000本の苗木を植樹することができました。また、少しでも多くの地域の方に森やミツバチについて関心をもってもらいたいと、農学部の先生方などの協力も得ながら地域の森づくり講座を毎年開催していて、これまで3回の講座に、のべ124名の方に参加いただきました。



岡 みのり さん

大学院地域資源創成学研究科修士課程2年
木花・加江田みつばちの森づくり代表

東京都出身の岡さんは、10年以上におよぶ世界各地での海外生活を経て、2015年にイタリアから宮崎に移住。研究活動に取り組む傍ら、夫と営む養蜂業のほかに、子育てと地域の豊かな森を守るために奮闘している。研究科では環境配慮型消費の普及に向けた場の役割について論文を執筆中。

Q. 地域の方へのメッセージがあればお願いします。

森づくりは、初めの5～6年は植林した後の手入れが重要で、手入れをしても、植えた苗がウサギなどの食害にあたり、日照りで枯れてしまったりします。地道な活動ですが、いつも見ている山を自分たちで作る、5年後10年後、20年後が楽しみな森づくりです。熟練のボランティアの方々に助けられています。若い力なしでは存続できません。自分たちの作った森は地域の宝としてずっと残ります。一緒に活動する仲間を随時募集中です。

岡さんが企画する関連イベントはこちら

※宮崎大学産学・地域連携センターHPをご確認ください。

- 大学開放事業(11/20予定)
「ミツバチの世界を知ろう」
- 学びなおしセミナー(1/22予定)
「地域の森づくりを考える」
- 植樹イベント(2月下旬予定)
加江田伐採跡地にて



Soccer

サークル紹介

今、宮崎大学のサッカーが

熱い!!

学部学生約4000人が在籍する宮崎大学では、サッカー部が2つとサッカーサークルが2つの合計4つの団体が存在する。今回は、3つの団体について比較しながら皆さんに紹介します。

宮崎大学 サッカー部

こんな方におススメ!

- ☑とにかくサッカーが好きで大学生になってもサッカーに熟くなりたい人
- ☑宮崎大学のサッカー部をもっと強くして、新たな歴史を刻みたい人
- ☑将来、体育教師などを目指す人

特徴 今期は「百折不撓」をスローガンとし、何度やられても立ち向かい、チャレンジ精神を胸に刻み九州大学サッカーリーグ2部への昇格を狙います。

本気度 ○○○○○○○○○○○

活動頻度 ○○○○○○○○○○○
週5日(火・水・金・土・日)

部員数 ○○○○○○○○○○○
約30人

部員募集中! マネージャー募集中!

部員・
マネージャー
募集中!!



代表: 結城 翔真さん(農学部3年)
(福岡県立久留米高校)
【ポジション】
ディフェンダー

Twitter @myzkuniv_enjoy

サッカー同好会 BALLS ボールズ

こんな方におススメ!

- ☑高校までのように全体練習への半強制参加はしたくない人
- ☑走り込みや筋力トレーニングなど、高校時代のようなきつい練習はしたくない人
- ☑でも、たまにはユニフォームを着て、それなりの緊張感を持って試合をしたい人

特徴 大学リーグに加盟しておらず、社会人チームや大学チームなどと試合をする。技術的に優れた選手が多く在籍していて、サークルらしからぬ高いレベルで楽しむことができる。

本気度 ○○○○○○○○○○○

活動頻度 ○○○○○○○○○○○
毎週月曜・木曜 17時~

部員数 ○○○○○○○○○○○
約70人 参加者は毎回20~30名弱

楽しく、
気軽に、
ガチで!



代表: 藤川 耕太朗さん(農学部3年)
(宮崎県立延岡高校出身)
【ポジション】
ミッドフィルダー・フォワード

Twitter @balls_soccer

サッカー同好会 フェニックス

こんな方におススメ!

- ☑試合などはしなくて良いので、健康づくりや仲間づくりのためにサッカーをしたい人
- ☑週に1回程度で十分なので、ゆるく楽しくサッカーをしたい人
- ☑大学生からサッカーを始めてみたい人(女性も大歓迎)

特徴 ユニフォームなどはなく、試合もない。仲間同士のミニゲームが中心。

本気度 ○○○○○○○○○○○

活動頻度 ○○○○○○○○○○○
毎週土曜

部員数 ○○○○○○○○○○○
約30人

ゆるく、
楽しく、
活動中!



代表: 川野 純也さん(工学部3年)
(宮崎県立日向高校出身)
【ポジション】
センターバック



宮大のサークル紹介



▲木花キャンパス

▲清武キャンパス



※本ページに掲載したイベントは、新型コロナウイルス等の感染拡大防止対策、台風等の自然災害などにより日程の変更や中止となることがあります。

令和3年度 みやだい Waku Waku 体験Day

大学祭開催に合わせて、
大学施設内での
様々な活動を紹介する
イベントです。

期日 11月20日(土) 21日(日)

場所 木花キャンパス 清武キャンパス

主催: 宮崎大学 産学・地域連携センター
問い合わせ: 宮崎大学研究国際部 産学・地域連携課
E-mail: m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

みやだい わくわく

大学祭も
同時開催!!

令和3年度後期 公開講座一覧

一部抜粋、他にも様々な講座を予定しております。詳しくはこちら▶



宮崎大学公開講座

<p>世界の野球事情</p> <p>【講師】世界各国で指導経験のある日本人</p>	<p>【日時】10/13~2/22 水曜 19:00~20:30(10回開催) 【対象】一般(50名) 【料金】2,000円 【場所】指定なし</p>	<p>野球は、2024年のパリオリンピックの正式種目として採用されず、将来的に復活させるためには、アジア、アフリカをはじめとする世界各国において普及・強化が図られなければ厳しと言われています。そこで、本講座では世界各地で野球の普及・競技力向上に奮闘する日本人の取組を10回シリーズで紹介します。野球の話を通じて、各国の文化なども知ることができる講座です。</p>
<p>楽しく学ぶ百人一首 ~和文化世界への招待~</p> <p>【講師】教育学研究科 准教授 永吉寛行</p>	<p>【日時】10/23~3/12 土曜 10:00~11:30(6回開催) 【対象】一般(20名) 【料金】2,000円 【場所】まちなかキャンパス(宮崎市 若草通アーケード内)</p>	<p>約800年前に成立したと言われる「小倉百人一首」。和歌や書道、美術作品のテーマとして長く愛されてきました。最近では「競技かるた」がブームとなり、それにともなって百人一首の歌や歌人にもまた注目が集まっています。そんな百人一首の世界を歌の内容だけでなく、歌人の裏話やパロディ川柳などを交えて楽しく勉強していきましょう。今回は10番「これやこの」からです。</p>
<p>親子で学ぶ天気と防災</p> <p>【講師】UMKテレビ宮崎気象キャスター 酒井晋一郎</p>	<p>【日時】10/23 土曜 14:00~16:00 【対象】小学生親子(7組) 【料金】1,500円 【場所】まちなかキャンパス(宮崎市 若草通アーケード内)</p>	<p>お天気と防災について、親子と一緒に学びませんか?雲のできる仕組みなどの自然現象を、実験をしながらやさしく解説します。また、大雨などの自然災害の際にどのように身を守ればよいのか、親子で防災意識を高めていけるよう、一緒に学ぶ内容となっています。</p>
<p>宮崎TOPセミナー ~県内26市町村の首長が熱く語る~</p> <p>【講師】宮崎県内の首長</p>	<p>【日時】11月~ 16:40~18:10(4回開催) 【対象】一般・教職員・大学生(50名) 【料金】無料 【場所】地域デザイン棟(木花キャンパス)</p>	<p>宮崎の各行政のTOP(首長)から活気に溢れた現状、未来への挑戦、潜在能力、行政哲学、抱える課題等をご紹介致します。より詳しく宮崎を知り活躍の場を宮崎に見出すために非常に有効なセミナーです。セミナーの後でTOPへの質問コーナーも予定されており、行政TOPの本音も聞くことができます。</p>
<p>スポーツメンタル トレーニング講習会</p> <p>【講師】教育学部 准教授 宇土昌志</p>	<p>【日時】11/1~11/29 月曜 19:00~21:00(5回開催) 【対象】高校生以上の競技スポーツ選手(15名) 【料金】2,500円 【場所】まちなかキャンパス(宮崎市 若草通アーケード内)</p>	<p>「本番で実力を出せるようになりたい」、「メンタルを強くする方法を知りたい」と思うことはありませんか?本講習会では、オリンピック代表選手への心理サポート経験をもつ講師から、運動部活動など競技スポーツに関わる方を対象として、競技力向上・実力発揮に役立つ心理技法を体験的に学んでいきます。</p>

は、オンラインで開催する講座です。 は、まちなかキャンパスなどの指定会場のモニターで受講可能なオンライン講座です。

広告

広告掲載のお問い合わせは
0985-51-7409
総合広告 有限会社 ナップ

江平ビジョン

EVISION

江平の五差路交差点から情報発信!
ローコストなLEDビジョン広告!

ニーズに合わせた6つのプラン
月額 **10,780** 円(税込)よりご利用できます!

有限会社 ナップ HP <http://www.m-nap.com/>
宮崎市東大淀1丁目1番41号 tel.0985-51-7409 E-mail pro@m-nap.com

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学附属図書館(本館)

地域に開かれた図書館を目指して大幅リニューアル!

宮崎大学附属図書館(本館)は、
2020年7月15日にリニューアル
オープンしました。

新しい図書館のコンセプトは、
「出会い、考え、創り出す」。大学生の
みならず、地域の方にも利用してい
ただき、新たな創造のきっかけとな
ることを目指しています。

エントランスを入ってすぐ左側
には、新着図書や地域に関する本な
どがずらりと並び、上質な空間を演
出しています。正面には展示ブース
を設け、時期にあったテーマに関す
る図書や宮崎大学が関わる教育・研
究関連のパネルや図書等を期間限
定で展示しています。さらに奥に進
むと、根井正利名誉博士を顕彰する
展示ブースや土呂久の歴史に関す
る民俗資料展示ブースを
常設しています。

2階は、これまでどおり
静穏な環境で学習できる

ようになっています。
3階は、大幅
改修を行い、オ



展示コーナー

改修のもうひとつの目玉が、1階
に併設しているライブラリーカフェ
です。軽食や弁
当、ドリンクな
どを提供してい
ますが、150
円から飲めるコ
ーヒーの味は大
手コーヒーショ

もちろん、本の貸し出しや閲覧と
いった図書館ならではのサービ
スも従来どおり行っています。遠くの
景色を眺めながら、あるいはライ
ブラリーカフェでくつろぎながら、新
しい図書館で快適な時間をお楽
しみていただければと思います。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、
利用制限などを行う場合があります。



ップにひけをとらず、
ポリウム満点の弁当
やサンドウィッチも好
評で、常に賑わいを見せ
ています。
カフェスペースは開館
時間中開放していますの
で、借りた本を読んだり、勉強した
りすることが可能です。

宮崎大学附属図書館本館 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 木花キャンパス TEL 0985-58-7147



これからは、
もっとあなたのそばに。

広告

みやぎんアプリ

いつでもどこでもスマホでカンタンお取引

来店不要で
各種お手続きが可能です。

無料で
ご利用いただけます!

※一部お手続きについては、ご来店が必要となります。 ※通信にかかるネットワーク代、振込手続きにかかる所定の手数料は別途お客さまのご負担となります。

普通預金
口座開設

通帳明細
表示

お振替
お振込

グラフ表示
資産内訳
残高推移

入出金
通知

店舗/ATM
検索

各種
お手続き

●アプリに関するお問い合わせ
みやぎんネットバンキング
ヘルプデスク

0120-357-456

[受付時間] 平日・土日祝日/9:00~23:00

Android OSの方
GET IT ON
Google Play

iOSの方
Download on the
App Store

※本アプリは無料でご利用いただけますが、ダウンロードや利用時にかかる通信料はお客さまのご負担となります。 ※AppleおよびAppleロゴは米国その他の国で登録された、Apple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。 ※Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLC.の商標です。

明日の夢 人から人へ
宮崎銀行

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学公式フェイスブック

みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。

Myaoh.TV

公式Youtubeチャンネルで宮大がわかる動画が500本以上!

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2021 vol.38 [発行日]令和3年10月1日

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行] 国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでものご感想などご自由にメールでお寄せ下さい。 kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。

バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。



* 本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。